

中期目標期間（平成28年度～令和元年度）の終了時に見込まれる

## 業務実績報告書

令和元年6月

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院

中期目標	中期計画	中期目標期間の実績報告	H28	H29	H30	見込 評価	評価委員会評価																						
							評価	コメント																					
第1 中期目標の期間 平成28年4月1日から平成32年3月31日までの4年間とする。	第1 中期計画の期間 平成28年4月1日から平成32年3月31日までの4年間とする。																												
第2 住民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 旭中央病院は、救急医療、高度急性期医療をはじめとする医療、介護及び福祉を提供するとともに、医療の質の向上を図るため医療従事者の育成に努め、地域の医療機関と連携して、市民をはじめとする地域住民の健康の維持及び増進に寄与すること。	第2 住民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	第1 住民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	A	A	(A)	A																							
1 診療機能の充実	1 診療機能の充実	1 診療機能の充実	A	A	(A)	A																							
(1) 患者中心の医療の推進 患者が自ら受ける医療の内容等に納得し、自分に合った治療法を選択できるよう、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントを徹底するなど、患者中心の医療を推進すること。	(1) 患者中心の医療の推進 ア 患者や家族が納得の上で治療方法を選択できるよう、インフォームド・コンセントを徹底し、患者満足度調査のインフォームド・コンセントに係る項目について、平成26年度の実績を上回るよう努める。 平成26年度実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>ほぼ満足以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病状・検査結果や治療内容などについての説明はわかりやすかったですか？（外来）</td> <td>80.2%以上</td> </tr> <tr> <td>入院時の診察、治療方針、手術などの説明に満足されましたか？</td> <td>89.2%以上</td> </tr> </tbody> </table> イ 医療を自由に選択する患者の権利を守るため、セカンドオピニオン制度について院内掲示やパンフレット作成などにより引き続き周知する。 ウ 先進医療、患者申出療養等の新たな制度が導入された場合には、その内容を十分に検討し、患者の要望に応え信頼される医療の提供に新たに取り組む。	項目	ほぼ満足以上	病状・検査結果や治療内容などについての説明はわかりやすかったですか？（外来）	80.2%以上	入院時の診察、治療方針、手術などの説明に満足されましたか？	89.2%以上	(1) 患者中心の医療の推進 ・患者満足度を毎年1回実施。インフォームドコンセントに関しては医療事故防止対策マニュアルのインフォームドコンセントについてを継続に取り組み、満足度向上に努めた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>ほぼ満足以上</th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病状・検査結果や治療内容などについての説明はわかりやすかったですか？（外来）</td> <td>80.2%以上</td> <td>76.5%</td> <td>78.7%</td> <td>81.4%</td> </tr> <tr> <td>入院時の診察、治療方針、手術などの説明に満足されましたか？</td> <td>89.2%以上</td> <td>90.7%</td> <td>92.6%</td> <td>94.1%</td> </tr> </tbody> </table> ・セカンドオピニオンについては、ホームページ・院内掲示、リーフレット配置を継続して実施した。 ・先進医療については、29年度に眼科で前眼部三次元画像解析を実施。患者申出療養制度について該当患者は今のところなし。	項目	ほぼ満足以上	H28実績	H29実績	H30実績	病状・検査結果や治療内容などについての説明はわかりやすかったですか？（外来）	80.2%以上	76.5%	78.7%	81.4%	入院時の診察、治療方針、手術などの説明に満足されましたか？	89.2%以上	90.7%	92.6%	94.1%	A	A	(A)	A		
項目	ほぼ満足以上																												
病状・検査結果や治療内容などについての説明はわかりやすかったですか？（外来）	80.2%以上																												
入院時の診察、治療方針、手術などの説明に満足されましたか？	89.2%以上																												
項目	ほぼ満足以上	H28実績	H29実績	H30実績																									
病状・検査結果や治療内容などについての説明はわかりやすかったですか？（外来）	80.2%以上	76.5%	78.7%	81.4%																									
入院時の診察、治療方針、手術などの説明に満足されましたか？	89.2%以上	90.7%	92.6%	94.1%																									

中期目標	中期計画	中期目標期間の実績報告	H28	H29	H30	見込 評価	評価委員会評価																	
							評価	コメント																
(2) 救急医療体制の充実・強化 地域医療に貢献するため、夜間・休日の医療体制の充実に努めるとともに、365日24時間体制の充実・強化を図ること。また、救急搬送の受入れをスムーズに行えるよう、消防などの連携の強化を図ること。	(2) 救急医療体制の充実・強化 ア 365日24時間、地域の救急医療を守るため、救急搬送患者を可能な限り受入れる体制の充実に努め、救急搬送応需率95パーセント以上を維持する（市外からの患者で当該市町村内に受入れ可能なものを除く。）。 イ 地域の救急救命士の教育・研修を実施し、地域の救急救命体制との連携及び質の向上に引き続き努める。	(2) 救急医療体制の充実・強化 ・地域の救急患者を出来る限り受け入れる体制を維持する事ができた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急搬送応需率（市外からの患者で当該市町村内に受入れ可能なものを除く）</td> <td>99.2%</td> <td>99.2%</td> <td>99.2%</td> </tr> </tbody> </table> ・地域の救急救命士の教育・研修を継続して実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士の教育・研修開催数</td> <td>14</td> <td>18</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>		H28実績	H29実績	H30実績	救急搬送応需率（市外からの患者で当該市町村内に受入れ可能なものを除く）	99.2%	99.2%	99.2%		H28実績	H29実績	H30実績	救急救命士の教育・研修開催数	14	18	15	A	A	(A)	A		
	H28実績	H29実績	H30実績																					
救急搬送応需率（市外からの患者で当該市町村内に受入れ可能なものを除く）	99.2%	99.2%	99.2%																					
	H28実績	H29実績	H30実績																					
救急救命士の教育・研修開催数	14	18	15																					
(3) 高度医療の確保と充実 高度急性期患者を受入れる地域の中核的な基幹病院として、高度な医療を確保し更なる充実を図ること。	(3) 高度医療の確保と充実 ア 地域の中核病院として、専門外来、各診療科の機能強化、低侵襲手術、最先端手術への積極的な取り組み等を継続する。 イ 手術の安全性を向上させ、患者の早期回復に資するため、手術前後の患者の状態を総合的に管理する周術期の体制を新たに構築する。 ウ 中期計画の期間における資金計画に基づいて、計画的な医療機器の整備を引き続き実施する。	(3) 高度医療の確保と充実 ・内視鏡下手術支援ロボットを使用した手術を継続して実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロボット手術件数</td> <td>64</td> <td>62</td> <td>74</td> </tr> </tbody> </table> ・周術期センターを発足させ、入院、手術、退院までのサポートを円滑におこなえるよう取り組み、対象診療科の拡大に努めた。 ・資金計画に基づき、更新や収益増の理由から優先度の高いものから価格交渉をおこない順次購入した。		H28実績	H29実績	H30実績	ロボット手術件数	64	62	74	A	A	(A)	A										
	H28実績	H29実績	H30実績																					
ロボット手術件数	64	62	74																					
(4) 5疾病に対する医療水準の向上 5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）に対する医療水準の向上を図ること。特にがんに関しては地域がん診療連携拠点病院として、地域全体のがん医療の中でその役割をはたすとともに、地域住民に対してがんに関する情報を提供し、その普及・啓発に努めること。	(4) 5疾病に対する医療水準の向上 ア がん ① がん診療連携拠点病院として専門的ながん医療の提供や地域のがん診療の連携協力体制を継続する。 ② がんと診断された患者には当初から身体的症状（痛み、吐き気等）、精神的症状（不安、不眠等）等を和らげるため、多職種で構成する緩和ケアチームによる支援を継続する。 ③ がん患者に対する相談支援を実施し、併せてピアサポーターの活用を継続する。 ④ 地域住民に対してがんに関する講演会を開催し、がん知識の普及・啓発に引き続き努める。	(4) 5疾病に対する医療水準の向上 【がん】 ・がん診療拠点病院としての要件を維持。専門的ながん治療を提供した。 ・症状の相談等については、緩和ケアチームによる多職種の介入を実施、随時適切に対処した。 ・がん相談支援センターにて、相談対応の他、がん患者サロン、ピア・サポーターズサロンを継続して開催した。 ・市民権講座等がんに関連する演題を6演題開催し、がん知識の普及・啓発に継続して取り組んだ。	A	A	(A)	A																		

中期目標	中期計画	中期目標期間の実績報告	H28	H29	H30	見込 評価	評価委員会評価																			
							評価	コメント																		
	<p><b>イ 脳卒中</b></p> <p>① 脳梗塞急性期患者に対して経静脈的血栓溶解療法等の治療、脳出血等の患者に対して外科的緊急手術、MRI等による画像診断等について、24時間実施できる体制を継続する。</p> <p>② 診断・治療後の急性期リハビリテーションにおいて入院後3日以内の開始割合を80パーセント以上に維持するとともに、地域の医療機関と連携して、患者が早期に自立できるよう支援を継続する。</p> <p><b>ウ 急性心筋梗塞</b></p> <p>① 急性心筋梗塞患者の診療を確実に実施するため、冠動脈カテーテル治療等を24時間行うことのできる体制を継続する。</p> <p>② 診断・治療後の患者の状態に応じたリハビリテーションを実施し、患者が早期に自立できるよう支援を継続する。</p> <p><b>エ 糖尿病</b></p> <p>① 多職種によるチーム医療の活性化に努めるとともに、糖尿病看護認定看護師を配置して総合的な糖尿病治療を継続する。</p> <p>② 当院主治医と地域のかかりつけ医による2人主治医制やコーディネーターを導入するとともに周辺市町村の行政や保健師、ケアマネジャーとの協働により地域連携を継続し、地域全体の糖尿病管理状態の改善に引き続き努める。</p> <p><b>オ 精神疾患</b></p> <p>① 近隣医療機関では対応が難しい緊急性が高く重症な精神疾患患者を受け入れる精神科救急病棟の体制を継続する。</p> <p>② 精神科単科病院では対応が難しいクロザピン治療や身体合併症を有した患者の治療を継続する。</p> <p>平成26年度実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>クロザピン治療</td> <td>13件</td> </tr> </table> <p>③ こころの問題をかかえた子どもに対して引き続き児童外来を継続する。</p>	クロザピン治療	13件	<p><b>【脳卒中】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間3名の専門医を待機させ、緊急に処置が必要な患者に対して緊急手術等行える体制を維持する事ができた。</li> <li>・脳梗塞における、入院後、早期リハビリを適切に実施した。</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳卒中早期リハビリ割合</td> <td>84.9%</td> <td>83.5%</td> <td>83.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【心筋梗塞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間休日においても常に専門医師1-2名が待機しており、早期に治療が行える体制を維持する事ができた。</li> <li>・患者の状態に応じ、リハビリテーションを実施、早期に自立できるよう支援した。</li> </ul> <p><b>【糖尿病】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病サポートチームによる多職種連携により職員教育等の活動を推進した。また、地域の住民を対象に糖尿病や食育の講演会や病識を深めるための啓蒙活動を開催した。</li> <li>・糖尿病認定看護師がコーディネーターナースの業務を一部担っている。糖尿病や透析予防に関する周辺市町村との定期的な情報交換も継続的に実施した。</li> </ul> <p><b>【精神疾患】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科救急病棟の施設基準を維持し、緊急性が高く重症な精神疾患患者を受け入れた。</li> <li>・クロザピン治療を継続して対象患者へ実施した。</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クロザピン件数</td> <td>18</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童外来を継続し、こころの問題を抱えた児童を受け入れた。</li> </ul>		H28実績	H29実績	H30実績	脳卒中早期リハビリ割合	84.9%	83.5%	83.9%		H28実績	H29実績	H30実績	クロザピン件数	18	6	8	A	A	(A)	A		
クロザピン治療	13件																									
	H28実績	H29実績	H30実績																							
脳卒中早期リハビリ割合	84.9%	83.5%	83.9%																							
	H28実績	H29実績	H30実績																							
クロザピン件数	18	6	8																							

中期目標	中期計画	中期目標期間の実績報告	H28	H29	H30	見込 評価	評価委員会評価																	
							評価	コメント																
<p>(5) 災害時医療、周産期医療、小児医療（小児救急医療を含む。）及び感染症医療等の取組み</p> <p>香取海浜医療圏の中核的な基幹病院として、災害時医療、周産期医療、小児医療（小児救急医療を含む。）及び感染症医療等の提供に努めること。</p>	<p>(5) 災害時医療、周産期医療、小児医療（小児救急医療を含む。）及び感染症医療等の取組み</p> <p>ア 災害時医療</p> <p>① 様々な災害に対応する地域災害拠点病院として災害発生時に的確な対応を実施するため、ヘリポート等必要な設備を維持し、日頃から医師会等との連携を継続する。</p> <p>② 災害に伴うインフラの切断等に対応するため、非常用自家発電設備の整備や井戸水等を引き続き確保する。</p> <p>③ 災害発生時に多くの患者を受け入れ適切な医療を提供するための訓練等を実施し、迅速な対応ができる体制を継続する。</p> <p>④ 災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣要員の育成に引き続き努める。</p> <p>イ 周産期医療</p> <p>① 地域周産期母子医療センターとして安全・安心な周産期医療を提供し、ハイリスクな出産や合併症妊婦を積極的に受け入れる体制を継続する。</p> <p>② NICU及びGCUの体制を維持するとともに、地域の周産期医療体制を充実させるため、周産期における新生児・妊婦の救急搬送を行う体制を継続する。</p> <p>ウ 小児医療（小児救急医療を含む。）</p> <p>① 小児救急医療拠点病院としての体制を維持し、小児救急患者に対して高度で専門的な治療を継続する。</p> <p>② 小児の重症患者や慢性疾患の管理等、地域の医療機関では診療が難しい患者を受け入れる体制を継続する。</p> <p>③ 小児科専属の臨床心理士や言語聴覚士を配置し、発達障害を持つ子どもの支援を継続する。</p>	<p>(5) 災害時医療、周産期医療、小児医療（小児救急医療を含む。）及び感染症医療等の取組み</p> <p>【災害時医療】</p> <p>・地域災害拠点病院の施設基準を維持し、非常用自家発電設備や井戸水等の設備については、メーカーによる点検を定期的実施し、設備を維持する事ができた。</p> <p>・旭市消防本部との大規模総合訓練の実施、院内の防災訓練・教育を各部署単位でも継続的に実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災訓練回数</td> <td>46</td> <td>67</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table> <p>・災害時派遣医療チームの研修・訓練に継続的に参加し育成に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害派遣チームの研修及び訓練実績</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>【周産期医療】</p> <p>・産科・新生児科と緊密に連携し妊婦を24時間受け入れる体制を維持する事ができた。</p> <p>・必要な設備については順次更新し、新生児等の救急搬送体制は24時間365日対応できる体制を継続した。</p> <p>【小児医療】</p> <p>・24時間小児救急患者を受け入れる体制を維持する事ができた。</p> <p>・人工呼吸管理を含む小児重症患者の入院管理、神経疾患・慢性腎疾患・先天性心疾患・重症心身障害児などの入院・外来管理を継続しておこなった。</p> <p>・専従の心理士と言語聴覚士を配置し、発達障害等を持つ児の支援を継続して実施した。</p>		H28実績	H29実績	H30実績	防災訓練回数	46	67	80		H28実績	H29実績	H30実績	災害派遣チームの研修及び訓練実績	7	13	9	A	A	(A)	A		
	H28実績	H29実績	H30実績																					
防災訓練回数	46	67	80																					
	H28実績	H29実績	H30実績																					
災害派遣チームの研修及び訓練実績	7	13	9																					

中期目標	中期計画	中期目標期間の実績報告	H28	H29	H30	見込 評価	評価委員会評価																					
							評価	コメント																				
	<p>Ⅰ 感染症医療</p> <p>① 第二種感染症指定医療機関として、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律により入院が必要とされる感染症患者を迅速に受け入れる体制を継続する。</p> <p>② 新型コロナウイルス等が発生した場合、速やかに対応できるよう医師や看護師等のチーム医療が行える体制を継続する。</p>	<p>【感染症医療】</p> <p>・第二種感染症指定医療機関としての基準を満たし、陰圧室を維持。また定期的に陰圧チェックを実施し設備点検をおこなった。</p> <p>・毎年保健所と合同で患者搬送訓練を実施し、感染症患者の受入れについて相互に確認をおこなった。</p>	A	A	(A)	A																						
(6) 高齢者医療の取組み 行政、地域の医療機関や福祉関係者と連携し、認知症対策等の高齢者医療に取り組むこと。	<p>(6) 高齢者医療の取組み</p> <p>ア 香取海匠医療圏における認知症疾患医療センターとして、行政、地域の医療機関、医師会及び介護・福祉関係者と連携して、専門的な相談や地域の医療・介護・福祉従事者への研修を実施し、認知症に関する普及啓発に引き続き努める。</p> <p>イ フレイル等の高齢者特有の疾患について、行政、地域の医療機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、介護・福祉施設等と連携して転倒・転落防止対策や健康教育を新たに実施する。</p>	<p>(6) 高齢者医療の取組み</p> <p>・認知症疾患医療連携センターとして、行政との連携、地域の医療者への研修等、認知症の普及啓発活動を継続的に実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症疾患医療センター研修、認知症の普及啓発活動数</td> <td>23</td> <td>34</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地域リハビリテーション広域支援センター事業として、旭・匠瑳市への一般介護事業への支援を継続して実施。他にもイベントへの参加、出前講座等も実施した。</p>		H28実績	H29実績	H30実績	認知症疾患医療センター研修、認知症の普及啓発活動数	23	34	22	A	A	(A)	A														
	H28実績	H29実績	H30実績																									
認知症疾患医療センター研修、認知症の普及啓発活動数	23	34	22																									
(7) 医療安全対策及び院内感染防止対策の徹底 市民をはじめとする地域住民が求める安心・安全な医療を提供するため、医療安全対策及び院内感染防止対策の徹底を図ること。	<p>(7) 医療安全対策及び院内感染防止対策の徹底</p> <p>ア 医療安全対策の徹底</p> <p>① 職員の医療安全に対する知識の向上に努めるため、医療安全研修会を継続する。</p> <p>② 発生したインシデント及びアクシデントの報告を引き続き徹底する。</p> <p>③ 医療安全管理推進室は情報を収集・分析し、医療安全推進委員会はこれに基づいてリスクを回避する方策の立案や、対策実施後の評価等討議を継続し、医療事故の再発防止及び予防を引き続き徹底する。</p> <p>④ 医療事故調査制度における協力と、医療事故等が起きた場合の調査、説明、報告等の体制を引き続き徹底する。</p>	<p>(7) 医療安全対策及び院内感染防止対策の徹底</p> <p>【医療安全の徹底】</p> <p>・医療安全研修会・セーフティマネージャー全体会議を継続して開催した。また、収集した情報の分析、対策実施後の評価を実施し、医療事故の再発防止及び予防を徹底した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全研修会開催回数</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>セーフティマネージャー全体会議開催回数</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>医療安全推進委員会開催回数</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>医療安全カンファランス開催回数</td> <td>38</td> <td>46</td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医療事故調査制度に則り、調査・説明・報告等を適切におこなえる体制を維持する事ができた。</p>		H28実績	H29実績	H30実績	医療安全研修会開催回数	9	12	19	セーフティマネージャー全体会議開催回数	4	3	3	医療安全推進委員会開催回数	12	12	7	医療安全カンファランス開催回数	38	46	43	A	A	(A)	A		
	H28実績	H29実績	H30実績																									
医療安全研修会開催回数	9	12	19																									
セーフティマネージャー全体会議開催回数	4	3	3																									
医療安全推進委員会開催回数	12	12	7																									
医療安全カンファランス開催回数	38	46	43																									

中期目標	中期計画	中期目標期間の実績報告	H28	H29	H30	見込 評価	評価委員会評価									
							評価	コメント								
	<p>イ 感染防止対策の徹底</p> <p>① 定期的に院内感染対策委員会を開催し、院内感染対策の検討、対応、原因究明、情報収集・分析等を継続する。</p> <p>② 院内感染対策委員会及び感染対策室が主体となり、院内の横断的活動をもって感染の発生防止や職員への啓発に努め、感染対策の基本的な考え方及び具体的な方策についての研修会を引き続き開催する。</p> <p>③ 結核やエイズ及び新型インフルエンザ等の新たな感染症の発生に備え、周辺医療機関等との連携を継続する。</p>	<p>【感染防止の徹底】</p> <p>・定期的な院内感染対策委員会の開催。院内の事例検討・情報収集・分析等を継続して実施した。</p> <p>・職員研修会を継続して開催、感染対策の基本的な考え方や具体的な方策について教育をおこなった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染対策研修会開催回数</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>・毎年保健所と合同訓練を実施しており、スムーズな連携体制が構築できた。</p>		H28実績	H29実績	H30実績	感染対策研修会開催回数	6	9	11	A	A	(A)	A		
	H28実績	H29実績	H30実績													
感染対策研修会開催回数	6	9	11													
(8) 医療スタッフの確保と育成	(8) 医療スタッフの確保と育成	(8) 医療スタッフの確保と育成	A	A	(A)	A										
<p>ア 医師の人材確保と育成</p> <p>旭中央病院において提供する医療水準を向上させるため、優秀な医師の確保に努めるとともに、初期臨床研修医及び後期研修医を育成すること。</p>	<p>ア 医師の人材確保と育成</p> <p>① 大学医局との連携の向上に努めるとともに、必要に応じて人材紹介会社を活用するなど4年間で指導医等の医師を10名以上新たに確保する。</p> <p>② 新たに発足する専門医制度の専門研修基幹施設及び専門研修連携施設となり、専門研修プログラムを運営する委員会を新たに設置し、後期研修医を確保する。</p> <p>③ 実践的で幅広い知識と技術が習得できる初期研修プログラムの一層の充実に努め、初期研修医を引き続き確保する。</p>	<p>ア 医師の人材確保と育成</p> <p>・医師採用活動を年間通して行い、指導医等の医師確保に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師確保数</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>・新専門医制度による専門研修基幹施設及び連携施設として専攻医の確保に努めている。また、臨床教育委員会を定期的に開催し、協議等おこなった。</p> <p>・初期研修プログラムの充実に努めた結果、初期研修医募集定員を超える応募が継続している。</p>		H28実績	H29実績	H30実績	医師確保数	3	7	9	B	A	(A)	A		
	H28実績	H29実績	H30実績													
医師確保数	3	7	9													
<p>イ 看護師及び医療技術職員の 人材確保</p> <p>関係教育機関との連携を強化し、優れた看護師及び医療技術者の確保に努めること。</p>	<p>イ 看護師及び医療技術職員の 人材確保</p> <p>① 年齢構成や必要性などを考慮した採用計画を策定し、これに基づいた計画的な採用を継続する。</p> <p>② 看護師等の確保・定着化を促進するため、中期計画期間中に看護師等の宿舍のあり方について検討し、必要に応じた設置計画を新たに策定する。</p> <p>③ 4年制看護大学の看護学生の奨学金制度を維持し、優秀な看護師を引き続き確保する。</p>	<p>イ 看護師及び医療技術職員の 人材確保</p> <p>・看護師の定着化、確保対策に取組み、年間を通し900名体制を維持できるようになった。</p> <p>・看護師確保対策の一環として、看護師宿舍の建設に着手。2020年の完成を目指し順調に進んでいる。</p> <p>・4年制看護大学の奨学金制度を維持しており、看護師の確保につながっている。</p>	A	A	(A)	A										

中期目標	中期計画	中期目標期間の実績報告	H28	H29	H30	見込 評価	評価委員会評価	
							評価	コメント
ウ 医療技術及び専門性の向上 医師、看護師、薬剤師、放射線技師、検査技師等の研修等を、国際交流も含めて充実し、医療技術及び専門性の向上を図ること。	ウ 医療技術及び専門性の向上 ① 医師、看護師、医療技術者等の技術向上のため、当地域で唯一の専門的な研修施設である地域医療支援センターを活用し、実習模型や医療機器を使った研修を継続するとともに、難易度の高い低侵襲の内視鏡手術等の技術向上のため、実際の医療機器を使った研修を継続し、専門技術の向上に引き続き努める。 ② 学会等の専門的な外部研修へ積極的に参加するとともに認定看護師等の職務上必要な専門資格の取得を引き続き促進する。 ③ 海外研修や海外からの講師を招き交流を実施し、国際的な技術や視野を持った職員の育成に引き続き努める。	ウ 医療技術及び専門性の向上 ・地域医療支援センターに於いて、実習模型・医療機器等を使用した研修会の開催、近隣医療機関を含めた研修会を開催し専門技術の向上に努めた。  ・認定看護師等の取得を推進し、他の職種のスキルアップ資格取得も受験料等を病院で負担し、推進した。  ・研修医等の教育目的として、定期的にUCLA等から講師を招聘している。また、北京医院等から看護師を研修生として受け入れた。	A	A	(A)	A		
(9) 看護師の養成と看護教員の確保 保健・医療・介護等の総合的な能力を持つ看護師を養成し、そのような教育を行う看護教員を確保すること。	(9) 看護師の養成と看護教員の確保 ア 看護学校において保健・医療・介護等の総合的な能力の習得に努めるため、病院、訪問看護、保育所等の実践的な臨地実習やカリキュラムに基づいた教育を継続する。 イ 看護学生の確保を促進するため、看護学校が主体となった中学生及び高校生を対象とした体験学習やオープンキャンパスを引き続き実施する。 ウ 看護教員の総合的な能力の向上に努めるため、看護部内に看護教員の研修修了者を一定数確保し、看護部と看護学校間の人事交流を継続する。	(9) 看護師の養成と看護教員の確保 ・附属の看護学校・病院・実習先の施設と連携し、総合的な能力を高める教育を継続した。  ・学生向けのオープンキャンパスや病院での職業体験を継続して実施。近隣高校の進路指導者向けにも説明会を開催した。 ・病院・看護学校間での人事交流を図るためガイドラインを作成し、看護教員の確保に努めた。	A	B	(A)	A		
(10) 法令及び行動規範の遵守 市の医療機関としての使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守することはもとより、行動規範と倫理に基づく適正な病院運営を行うこと。	(10) 法令及び行動規範の遵守 ア 医療法をはじめとする関係法令を遵守し、院内規程の整備や倫理委員会のチェック等をつうじて、職員の行動規範と倫理に基づく適正な医療を徹底するとともに職員向けの講習会を引き続き開催する。 イ 病院運営に当たり職員等は計画・立案、申請、実施、報告など当院の業務活動、経理事務の遂行等各過程において、法や規程に沿って誠実に行動し、当院の業務活動で得た診療データ等の取扱いを徹底し、ねつ造、改ざん、盗用などの不正行為が行われないよう法令等を引き続き遵守する。	(10) 法令及び行動規範の遵守 ・倫理審査委員会を奇数月に開催。新入職員のオリエンテーションにて就業規定および服務規程を説明、一般職員向けの行動規範研修会も年に1度開催した。  ・監事による業務監査を実施。会計監査においても問題ないとの評価を得た。 ISO9001の認証を受けており、毎年外部審査を受けているが不適合の指摘はなかった。	B	A	(A)	A		

中期目標	中期計画	中期目標期間の実績報告	H28	H29	H30	見込 評価	評価委員会評価													
							評価	コメント												
(11) 地域連携 地域包括ケアシステムの構築を視野に、地域の医療資源を有効に活用し、地域全体で切れ目のない医療を提供するため、行政、地域の医療機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、介護・福祉施設等との連携を推進していくこと。	(11) 地域連携 ア 地域の医療機関との連携体制を推進するため、紹介・逆紹介や検査機器等の共同利用の向上に引き続き努める。 イ 行政、地域の医療機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、介護・福祉施設等と相互の理解を深めるため、地域医療者懇談会等を継続的に開催し、連携体制及び協力体制の強化を継続する。	(11) 地域連携 ・地域医療支援病院としての要件を維持、地域医療支援病院運営委員会を開催。紹介・逆紹介・検査機器等の共同利用の向上に努めた。 ・地域の医療機関との連携体制のため、地域医療者医師懇談会を年2回継続的に開催した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域医療支援病院運営委員会開催回数</td> <td></td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>地域医療者懇談会開催回数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		H28実績	H29実績	H30実績	地域医療支援病院運営委員会開催回数		4	4	地域医療者懇談会開催回数	2	2	2	A	A	(A)	A		
	H28実績	H29実績	H30実績																	
地域医療支援病院運営委員会開催回数		4	4																	
地域医療者懇談会開催回数	2	2	2																	
2 患者等のサービスの向上 患者等が満足し地域住民に選ばれる病院であり続けるため、患者サービスの向上を図り、特に診療待ち時間等の改善や、接遇の向上に努めるとともに、介護、福祉施設利用者等のサービスの向上を図ること。	2 患者等のサービスの向上 (1) 医療の質の向上に努めるため、患者満足度調査や、投書箱等からの様々な意見により患者ニーズを速やかに把握し、改善に向けて引き続き努める。 (2) 診療待ち時間や会計待ち時間の調査を継続的にを行い、実態の分析及び改善対策を検討し、待ち時間の短縮に引き続き努める。 (3) 接遇の向上に努めるため、引き続き新規採用職員に対するオリエンテーションにおいて接遇教育を加えるとともに、全職員を対象とした接遇講習会を引き続き定期的に開催する。 (4) 患者に満足していただける医療を提供するため、日本病院会や全国自治体病院協議会等のQ Iを算出・分析し、P D C Aサイクルを実施することにより、介護、福祉施設利用者等を含めたサービスの向上に引き続き努める。 (5) 来院する患者の利便性向上に努めるため、駐車場及び各種施設・設備について、その利用状況や利便性、老朽化の状況を調査し、必要に応じて今後の整備方針を新たに策定する。	2 患者等のサービスの向上 ・患者さんからいただいたご意見に対しては患者相談中央会議において対応を検討し改善が必要な個所については改善を図った。 ・待ち時間については、患者満足度調査において集計した。診療待ち時間等は満足度が低く、今後も継続して分析及び改善策を検討していきたい。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均会計待ち時間(分)</td> <td>3.0</td> <td>3.1</td> <td>3.1</td> </tr> </tbody> </table> ・職員の接遇に関しては、新入職員に対してはオリエンテーションにて実施し、全職員向けに対しても年1回以上開催した。 ・日本病院会、全国自治体病院協議会、京都大学のQ Iベンチマーク事業を継続して実施し、医療の質向上に努めたが、30年度はQI推進会議を開催できなかった。 ・駐車場については、継続的に整備をおこなったが、全面的な整備方法について検討をすすめている。		H28実績	H29実績	H30実績	平均会計待ち時間(分)	3.0	3.1	3.1	A	A	(B)	B						
	H28実績	H29実績	H30実績																	
平均会計待ち時間(分)	3.0	3.1	3.1																	
			B	A	(A)	A														
			B	A	(B)	B														
			A	A	(A)	A														
			A	A	(C)	B														
			A	B	(B)	B														
3 市の医療施策推進における役割の発揮	3 市の医療施策推進における役割の発揮	3 市の医療施策推進における役割の発揮	A	A	(A)	A														
(1) 市の保健・福祉行政との連携 市民の健康の維持及び増進を図るため、市の機関や地域の医療機関と連携すること。	(1) 市の保健・福祉行政との連携 ア 市の健康管理課等と連携し、各種健診や予防接種など、市民の健康維持に引き続き寄与する。 イ 地域包括支援センター、地域の医療機関、介護・福祉施設等と連携し、市民が生活していく上で必要な総合相談や支援などに引き続き協力する。	(1) 市の保健・福祉行政との連携 ・乳児健診・企業健診・がん再検査等の各種健診を実施した。予防接種についても継続して実施した。 ・地域包括ケアセンター等と連携し研修会の実施、個別の事例検討を行い、多機関での協力体制を構築できた。	A	A	(A)	A														

中期目標	中期計画	中期目標期間の実績報告	H28	H29	H30	見込 評価	評価委員会評価	
							評価	コメント
(2) 災害時における医療協力 災害時には、地域災害拠点病院としての役割を果たすとともに、市と連携して医療救護活動を行うこと。	(2) 災害時における医療協力 ア 災害時には旭市地域防災計画等に基づき、必要な対応を迅速に行うとともに、自らの判断で医療救護活動ができる体制を継続する。 イ 市と連携した災害訓練等を継続し、災害時の連携体制の向上に引き続き努める。 ウ 地域の大規模災害発生に備え、医薬品、災害用品、医療用器具等の備蓄を維持する。	(2) 災害時における医療協力 ・毎年病院全体の災害訓練を実施、各部署に於いても個別に訓練を実施した。旭市消防本部とも定期的な訓練を実施した。 ・災害備蓄庫の点検を定期的に実施し、期限切れ・定数の確認をおこなった。	A	A	(A)	A		
(3) 市民への保健医療情報の提供・発信 医療に関する専門分野の知識を活かした医療情報の提供、保健医療情報の発信及び普及啓発を推進すること。	(3) 市民への保健医療情報の提供・発信 医療に関する専門分野の知識を活かした講座等の開催や講師の派遣依頼に対応するとともに、広報誌やホームページを通じて医療情報を提供し、市民の健康増進に引き続き寄与する。	(3) 市民への保健医療情報の提供・発信 ・市民健康講座は年4回開催、近隣住民向けの出前講座の開催、広報誌「こんにちは」の発行を定期的に行い、健康増進に関する情報発信等に努めた。	A	A	(A)	A		
(4) 介護・福祉の提供と連携 地域の介護・福祉施設との連携を強化し、介護福祉サービスの提供を市と連携しながら行って行くこと。	(4) 介護・福祉の提供と連携 ア 市内の介護・福祉関係機関との意見交換会を実施し、相互の連携体制を継続する。 イ 当院の附属施設である、介護老人保健施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム及びケアハウスを適切に運営していくとともに、老朽化に対応した新たな整備改修計画を市と協議のうえ策定する。	(4) 介護・福祉の提供と連携 ・高齢者支援連絡会議等の定期的な開催により、市内高齢者関連サービス事業所との意見交換など連携をとり、活動を継続した。 ・市のすすめる「生涯活躍のまち・あさひ」構想の推移を踏まえながら市と協議をおこなった。	A	A	(A)	A		
第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項 地方独立行政法人として、運営管理体制を確立し、自律性・機動性・透明性の高い病院運営を行うとともに、地方独立行政法人制度の特長を十分に活かして、より一層効率的な業務運営を行うこと。	第3 業務運営の改善及び効率化に関する措置	第2 業務運営の改善及び効率化に関する措置	A	A	(A)	A		
1 法人としての運営管理体制の確立	1 法人としての運営管理体制の確立	1 法人としての運営管理体制の確立	A	A	(A)	A		
(1) 運営管理体制の確立 旭中央病院の運営が的確に行えるよう、中期計画及び年度計画が着実に達成できる運営管理体制を確立すること。	(1) 運営管理体制の確立 ア 理事長のリーダーシップのもと、全職員が目標に向けて取り組んでいくため、ISO9001及び医療機能評価を引き続き活用しPDCAサイクルによる改善を徹底する。 イ 各部門が専門性を発揮し、医療環境の変化に的確かつ迅速に対応できるよう各理事の役割分担及び責任体制を整備し、目標達成に向けた機動性の高い運営体制を新たに構築する。 ウ 病院として目指すべき理念や基本方針を新たに策定するとともに、全職員がその基本方針に向かって取り組むため、院内広報誌及び院内ホームページ等を利用して情報を共有し、自律的な運営ができる体制を継続する。	(1) 運営管理体制の確立 ・定期的に開催する理事会に於いて、各理事より所管事項について毎回報告する体制を維持し、目標達成に向けた運営体制を確立する事ができた。 ・ISO9001に於いて毎年内部監査を実施、改善が必要な点について適切に対処し、外部審査を受審し認証登録を維持する事ができた。 ・新たに策定した基本理念を全職員に周知、院内にも掲示した。	A	A	(A)	A		

中期目標	中期計画	中期目標期間の実績報告	H28	H29	H30	見込 評価	評価委員会評価	
							評価	コメント
(2) 情報管理体制の徹底 マイナンバー制度等に対応し、常に情報セキュリティに留意して個人情報の保護を徹底するとともに、診療情報の適切な提供に努めること。	(2) 情報管理体制の徹底 ア 個人情報の保護に関しては、個人情報保護法、厚生労働省策定の医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン、や当院の定める規程等に基づき対応するとともに、全職員が情報セキュリティの重要性を認識できるよう引き続き定期的な研修会を開催する。 イ カルテ（診療録）、レセプト等の医療情報の開示については、当院の定める規程や診療記録開示審査委員会の定める要項に基づき、引き続き適切に対応する。 ウ マイナンバー制度等、患者や診療情報に係る新たな制度が導入された場合には、その内容を十分に検討し法令等に留意しながら柔軟に対応する。	(2) 情報管理体制の徹底 ・個人情報保護の徹底については、新入職員オリエンテーションと全職員向けの研修会を毎年開催し、個人情報の適切な取り扱いに努めた。  ・カルテ開示は当院の定める規程等に基づき、適切に対応した。  ・職員のマイナンバー制度について対応した。マイナンバーカードによる健康保険証の認証がおこなえる健康保険法の改正があったため、制度の詳細が具体的に判明次第適切に対応する。（開始予定2021年3月）	A	A	(A)	A		
2 効率的・効果的な業務運営	2 効率的・効果的な業務運営	2 効率的・効果的な業務運営	A	A	(A)	A		
(1) 効率的な業務執行体制の構築 医療需要の変化や病院経営を取り巻く状況に迅速に対応し、医師等の配置を弾力的に行うことや、多様な専門職の活用を図ることにより、効果的な医療を提供すること。	(1) 効率的な業務執行体制の構築 ア 今後大きく変化することが予想される地域の医療需要に迅速かつ的確に対応するため、医師等の短時間勤務等、新たな制度を構築する。 イ 質の高い病院経営を行うため、例月の収支、患者数、病床利用率データ等の経営関係情報を理事会において管理し、効率的な業務執行に引き続き努める。	(1) 効率的な業務執行体制の構築 ・医師等の短時間勤務等について、特に子供がいる女性医師について個別に対応をおこなった。  ・理事会に於いて、毎月の診療実績、収支状況など、当院の経営状況について分析し報告をおこなった。	B	A	(A)	A		
(2) 職員の職務能力の向上 医療スタッフ、介護スタッフ等の職務能力の高度化及び専門化を図るとともに、事務スタッフ等については、病院経営の専門的知識や経営感覚に優れた人材を育成し、組織として経営の専門性を高めること。	(2) 職員の職務能力の向上 ア 最適な医療を安全に提供するため、院内の教育研修機能を充実させ、計画的に研修を実施することにより、医療・介護・福祉に関する専門性の向上に引き続き努める。 イ より高度な医療技術を習得するため、学会や研修会等への参加機会を確保し、医療・介護スタッフ等の技能と意欲の向上に引き続き努める。 ウ 専門的な能力を持つ事務スタッフを育成し、病院経営に関する企画・分析力の向上に引き続き努める。	(2) 職員の職務能力の向上 ・年間を通じた研修計画を作成し、計画的な研修会の開催に努めた。  ・学会への積極的な参加を促し、当院が幹事病院となった全国自治体病院学会（2017.10）では110演題の発表をおこなった。 ・事務スタッフの専門資格取得を推進し、診療情報管理士資格を5名取得した。	A	A	(A)	A		

中期目標	中期計画	中期目標期間の実績報告	H28	H29	H30	見込 評価	評価委員会評価	
							評価	コメント
(3) 職員の就業環境の整備 職員が働きやすい職場で仕事にやりがいがあるよう配慮して日常業務の質の向上を図るとともに、特に女性の医師、看護師等に対しては育児と業務の両立を支援し、就業環境を整備すること。	(3) 職員の就業環境の整備 ア 職員の働きやすい職場を実現するため、時間外勤務の縮減や有給休暇、介護休暇等の取得を引き続き促進する。 イ ストレスチェックの実施等により仕事や家庭（家庭環境・職場の人間関係等）の不安や悩みを調査し、解消する相談体制を継続する。 ウ ワークライフバランスに配慮した柔軟で多様な雇用形態や勤務時間を検討し、職員が働きやすい職場環境を新たに構築する。 エ 子育て世代の医師や看護師等が本来の業務に専念できるよう24時間の院内保育施設、病児・病後児保育を維持するとともに、母子・父子寮を新たに整備する。	(3) 職員の就業環境の整備 ・毎月開催される衛生委員会において、医師以外の時間外労働者（45時間以上）、医師の時間外労働者（100時間以上）について報告。個別に縮減に向けた取り組みを行っている。働き方改革に適切に対処できるよう努めた。 ・産業医、臨床心理士の協力のもと、ストレスチェックの実施とフォローをおこなった。 ・女性医師、看護師について個別に対応を行い、院内保育園施設の維持に努めた。	B	B	(B)	B		
(4) 人事評価制度の充実 職員の努力が評価され、業績や能力を的確に反映した処遇を行うため、人事評価制度の充実を図ること。	(4) 人事評価制度の充実 ア 職員の努力が評価され、人材育成やモチベーション向上につながる業績・能力を的確に反映した人事評価制度の充実に引き続き努める。 イ 人事評価制度の信頼性、妥当性及び納得性を向上させるため、人事評価者研修を継続するとともに被評価者向けのアンケート調査を新たに実施する。 ウ 医師の年俸制度について、新たに導入を検討し、検討結果に基づき適切な対応を実施する。	(4) 人事評価制度の充実 ・人事評価説明会を評価者・被評価者向けに毎年開催し、人事評価制度の充実に努めた。 ・PDCAマネジメントサイクルの一環として、全診療科に対し理事長・病院長ヒアリングを実施した。	B	A	(A)	A		
(5) 予算執行の弾力化等 中期計画の枠の中で、予算科目や年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行うことにより、効率的・効果的な事業運営に努め費用の節減等を図ること。	(5) 予算執行の弾力化等 ア 患者や利用者にとって有益な効果をもたらす事業がある場合においては、年度間、科目間での弾力的な予算執行を新たに実施し、収入の確保につなげる。 イ 単年度契約や複数年契約など多様な契約方法を活用し、費用の削減等を継続する。 ウ 計画的な修繕による施設の長寿命化と投資の平準化、施設運営・保守管理を効率化するため、施設の整備及び管理計画を新たに策定する。	(5) 予算執行の弾力化等 ・導入時期、費用対効果を十分検討し、導入が決定したものについては早期実現に向け予算を確保する事ができた。 ・契約方法・期間等を検討し、効率的かつ効果的な費用の節減を図った。 ・「施設維持・管理計画書」に基づき適切に維持管理に努めた。	A	A	(A)	A		

中期目標	中期計画	中期目標期間の実績報告	H28	H29	H30	見込 評価	評価委員会評価									
							評価	コメント								
(6) 収入の確保 診療報酬改定等の変化に対応する為、的確に分析や検討を行い、施策を実行し収益を確保すること。	(6) 収入の確保 ア 診療報酬改定等に適切に対応できるよう医師、医事課等関係職員への研修会を引き続き開催し、最大限の収入を確保する。 イ D P Cデータや評価係数の分析・検討に基づく適切な対策を引き続き実施し収入を確保する。 ウ 平成28年度以降に公表される千葉県の地域医療構想を踏まえた当地域の計画を検討し、経営上有効と判断される施策や制度が導入された場合には、迅速に対応する。	(6) 収入の確保 ・医事課において毎月勉強会を実施。診療報酬改訂前には、専門家を招聘し全職員向けの研修会を開催した。 ・保険診療委員会において、適正なコーディングの検討、査定原点等の対策について定期的に検討した。 ・地域医療構想と生涯活躍のまち構想との整合性を図りながら検討をすすめた。	A	A	(A)	A										
(7) 費用の節減 後発医薬品の採用促進を図るとともに、薬品費、診療材料費及びその他経費を含めた費用の節減に努めること。	(7) 費用の節減 ア 後発医薬品の採用を促進し、患者の負担軽減と当院の費用節減に引き続き努める。  イ 業務委託については、毎年度検証を行い、費用と業務を適切に管理するよう引き続き努める。 ウ 薬品費、診療材料費その他の経費について、品目ごとの使用状況、調達状況等を適切に管理し、費用の節減に引き続き努めるとともに、同種・同効能・同機能製品については統一化について検討を新たに実施する。	(7) 費用の節減 ・後発医薬品の採用促進を図り、患者の負担減と当院の費用節減に継続的に取り組んだ。 <table border="1" data-bbox="1344 800 1976 877"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品の数量シェア(年度平均)</td> <td>81.4%</td> <td>82.3%</td> <td>92.1%</td> </tr> </tbody> </table> ・必要性を個々に精査し、複数社による見積り合せを実施、費用の削減に努めた。 ・診療材料・薬品は適宜見積り合せを実施。同種・同能品についても統一化できるよう検討を実施した。		H28実績	H29実績	H30実績	後発医薬品の数量シェア(年度平均)	81.4%	82.3%	92.1%	A	A	(A)	A		
	H28実績	H29実績	H30実績													
後発医薬品の数量シェア(年度平均)	81.4%	82.3%	92.1%													
第4 財務内容の改善に関する事項 「第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項」で定めた事項を実行し、旭中央病院の公的使命を果たしつつ、経営基盤を更に安定させる中期計画及び年度計画を作成し、実行すること。	※第4 財務内容の改善に関する事項については「第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項」で定めた計画を実行することにより経営基盤を安定させることが目標であるため、計画内容はありません。															
第5 その他業務運営に関する重要事項	第4 その他業務運営に関する重要事項	第3 その他業務運営に関する重要事項	B	A	(A)	A										
1 職員の意識改革 中期目標を十分に達成できるよう、経営への参画意識を高めるなど、職員の意識改革を図る手段を講じること。	1 職員の意識改革 職員の積極的な経営参画意識と士気を高めるため、職場における組織横断的な経営改善活動や職場改善活動への参画を促し、併せてこれらの活動結果の発表会を引き続き定期的で開催する。	1 職員の意識改革 ・職員が現場目線で改善活動をおこなうQC活動を継続し、活動報告をおこなう発表会を毎年開催した。	A	A	(A)	A										
2 情報の適切な提供 病院広報紙、ホームページ等により、受診案内や医療情報等の情報発信を積極的に行うとともに、法人の経営状況について市民の理解を深められるよう、情報提供を適切に行うこと。	2 情報の適切な提供 病院広報誌、ホームページ等により、受診案内、手術件数等の診療実績の情報発信を積極的に実施するとともに、財務諸表や年度計画について市民の理解を深められるよう、わかりやすい情報提供を新たに実施する。	2 情報の適切な提供 ・ホームページをリニューアルし、適切かつ分かりやすい情報発信に努めた。 ・広報誌「こんにちは」を定期的に発行し、当院の取組みのほか、地域の医療機関等の紹介も掲載した。	B	A	(A)	A										